平成29年度　指定管理者施設管理評価シート

部課名	区民部	子ども家庭支援センター
施設名称	[3] 東京都台東区立寿子ども家庭支援センター	
指定管理者	特定非営利活動法人子育て台東	
選定方法	□公募 ■継続特例　□非公募	
指定期間	H26.4.1 ～ H31.3.31	

1．施設および事業の概要

(1)	[設置目的]　子育て相談や事業を通じ、子供と家庭を支援し、区民が安心して子供を産み育てることができる地域環境の形成を図る。
(2)	[所 在 地]　台東区寿１－１０－１０ [規　　模]　ＲＣ造り　４階建のうち３階　延床面積：５２０．６５㎡ あそびひろば、赤ちゃんコーナー、ランチルーム、活動室、事務室及び面接室
(3)	[委託事業]　子供と家庭の相談及び指導、親同士の交流の場及び子供の遊び場の提供等子育て支援、子育てに関する情報提供及び啓発、子育てサークル等の地域組織化、子供と家庭支援に関する関係機関との連携及び調整に関すること。 [自主事業]　ことぶきこども園との交流事業（ふれあいタイム）
(4)	[利 用 者]　１８歳未満の子供とその保護者及び関係者 [利用料金制]　□有 ■無 □その他（　　　　　　）
(5)	[開館日・時間]　月～土曜日（祝日・年末年始を除く） 午前９時～午後５時
(6)	[人員体制]　６名 （内訳）常勤　３名（センター長１名、地域支援相談員２名） 非常勤３名（地域支援相談員２名、専門相談員１名）

2．予算決算

		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	27,487,000	27,485,913	28,457,000	28,337,606
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（受取利息）	0	912	0	53
	計	27,487,000	27,486,825	28,457,000	28,337,659
支出	人件費	21,779,000	22,238,921	22,770,000	22,632,745
	光熱水費	1,361,000	1,248,898	1,368,000	1,236,802
	維持管理費（委託料・賃借料）	2,638,000	2,506,016	2,630,000	2,627,272
	修繕費	50,000	0	20,000	1,512
	事業費	1,659,000	1,492,990	1,669,000	1,839,328
	その他支出	0	0	0	0
	計	27,487,000	27,486,825	28,457,000	28,337,659
収支			0		0

3．活動指標

3．活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
親子遊びプログラム開催数	回	215	140	190	208
開設日数	日	293	293	294	293

4．成果指標

4．成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
あそびひろば利用者数	人	30,000	23,680	29,566	29,941
相談件数	件	相談実施	699	638	670

5．前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

利用者のニーズを適切に把握するとともに、ベビーマッサージ等の自主事業を実施した。また、父親の参加をより一層促すため、土曜講座を増やした。結果として、利用者の満足度も高く、利用者数も順調に推移した。今後も引き続き、アンケート調査の結果等を検証し、適宜、事業運営の工夫・改善を実施していく。

6．評価の観点

（20点）　水準を全て満たしている（年間通じて問題がなかった）　（19～14点）水準の範囲内である（一部軽微な課題あり）
（13～12点）水準をやや下回った　（11点以下）水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 ／20 点	労働環境モニタリング調査による指摘事項（労働基準法、育児・介護休業法等）に対して迅速・適正に検証・対応し、法令を遵守している。事業計画書を事前に送付し、適切に執行している。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 ／20 点	他の子ども家庭支援センターや併設することぶきこども園と連携した事業運営を行っている。また、平成２８年に制定された障害者差別解消法を見据えた手話事業を開催し、ノーマライゼーションの形成の一助となる等、その時々のニーズを踏まえた事業運営を行っている。職場外研修への参加が少なかったことが、人材育成の面で課題である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 ／20 点	毎月、施設点検、備品点検及び在庫管理を行い、軽微な修繕については迅速に対応している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 ／20 点	アンケート調査の結果等を検証し、利用者のニーズ把握及び事業運営の工夫・改善を実施することで、利用者増・相談数増に繋げている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 ／20 点	限られた予算内で、計画的・効率的に事業を運営し、予算を執行している。

(6) 優れた取組み ≪加点項目≫ ※点数上限：１０点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	（２）に明記したように、その時々の社会情勢やニーズを踏まえた事業を提案している。また、一過性の事業としてではなく、ひろば利用ができなくなる４歳児以上の保護者が立ち上げた自主サークルに活動室を提供し、サークル活動時に見守り・助言をする等、切れ目のない支援を実施している。

7．総合評価　極めて良好（110～101）・良好(100～91)・適正(90～70)・改善指示(69以下)

極めて良好 （　104　/110点）	【所見】 職員の自己啓発によって、資格を取得し、ベビーマッサージ等の満足度の高い自主事業を定期的に開催している。また、限られた人員ながら、積極的にひろばに入り、利用者への声掛けを行うことで、利用者と触れ合い、良好な関係を築いている。結果として、利用者のＳＯＳに気付き、相談に繋げることが出来ている。	【各項目20点に届かなかった主な要因･課題】 ・職場外研修への参加が少なかったことが、人材育成の面で課題である。ついては、適切な職員配置をすることで、講演会や勉強会等の職場外研修に参加する機会を逸することなく、個人のスキルアップ、ひいては組織の人材育成につなげることができると考えている。